ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/10/01 号(As of 2024/09/30)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	142.82 AUD/USD
TKY 9:00AM	142.81	1.1170	159.47	1.3383	0.6919
SYD-NY High	143.92	1.1209	160.11	1.3423	0.6943
SYD-NY Low	141.65	1.1114	158.10	1.3350	0.6898
NY 5:00 PM	143.62	1.1135	159.96	1.3377	0.6913

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,330.15	17.15	日本2年債	0.3800%	0.0600%
NASDAQ	18,189.17	69.58	日本10年債	0.8500%	0.0400%
S&P	5,762.48	24.31	米国2年債	3.6442%	0.0880%
日経平均	37,919.55	▲ 1,910.01	米国5年債	3.5619%	0.0594%
TOPIX	2,645.94	▲ 95.00	米国10年債	3.7857%	0.0360%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,265.00	650.00	独10年債	2.1310%	▲0.0075%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,236.95	▲ 83.81	英10年債	4.0070%	0.0305%
DAX	19,324.93	▲ 148.70	豪10年債	3.9660%	▲0.0060%
ﾊﾝｾﾝ指数	21,133.68	501.38	USDJPY 1M Vol	12.31%	0.75%
上海総合	3,336.50	248.97	USDJPY 3M Vol	11.82%	0.15%
NY金	2,659.40	▲ 8.70	USDJPY 6M Vol	10.78%	0.00%
WTI	68.17	▲ 0.01	USDJPY 1M 25RR	▲1.20%	Yen Call Over
CRB指数	284.94	▲ 1.00	EURJPY 3M Vol	10.60%	0.07%
ドルインデックス	100.78	0.40	EURJPY 6M Vol	10.02%	▲0.03%

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は142.81ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仲値通過後につけた142.85を高値に、その後はじり安の展開。自民党総裁選での石破氏の勝利が引き続き影響してか、日経平均株価も軟調な推移となる中、広範な円買いが進み、直近安値を抜け、一時141.65をつける。反発も一部にとどまり、141.79ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、141.79ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。材料難の中で小幅推移し、結局142.57ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.1163ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。独9月CPIが市場予想を下回るも、先週発表されていた仏西9月CPIが著しく弱かったことから織り込み済みか、市場への影響は限定的だった。その後は底堅く推移し、結局1.1197ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場で自民党総裁選結果を受けた円買いの流れが継続し、ﾄﾞﾙ円は一時141.65まで下落したが、週末の石破首相の発言は、金融政策に関して「緩和の方向は維持しなければならない」等の発言が散見されたことから、円が売り戻され142.57ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ143.37まで上昇。その後はﾊﾟｳｴﾙ議長の講演を控え狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続く。講演では「あらかじめ決められた道筋はない、会合毎に決定」等、特段目新しい内容ではなかったが、ﾊﾟｳｴﾙ発言以降米金利が上昇する展開にﾄﾞﾙ円は143.92まで戻し、143.62ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは、ﾄﾞｲﾂCPIが特段驚く内容でもなかったことからﾕｰﾛﾄﾞﾙの反応は限定的となり、1.1197ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方はﾗｶﾞﾙﾄﾞECB総裁の「ｲﾝﾌﾚ目標の2%を速やかに達成できる確信増した」、「確信増したことを10月に考慮に入れる」等の発言を受けて売りが優勢となり1.1135まで反落する。午後もﾊﾟｳｴﾙ議長の発言を受けて米金利が上昇する展開に1.1114まで下落し、1.1135ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

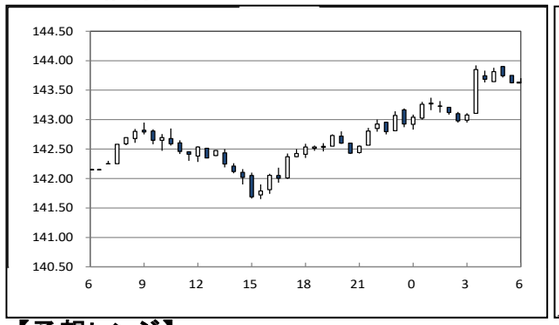
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
9月30日	10:30	中	製造業/非製造業PMI	9月	49.8/50.0	49.4/50.4
	10:45	中	Caixin中国製造業/非製造業PMI	9月	49.3/50.3	50.5/51.6
	21:00	独	CPI(前年比/前月比)・速報	9月	1.6%/0.0%	1.7%/0.1%
	22:00	欧	ラガルドECB総裁 講演	-	インフレ抑制に確信強めた	
10月1日	02:55	米	パウエルFRB議長 講演	-	利下げを急いでいない	

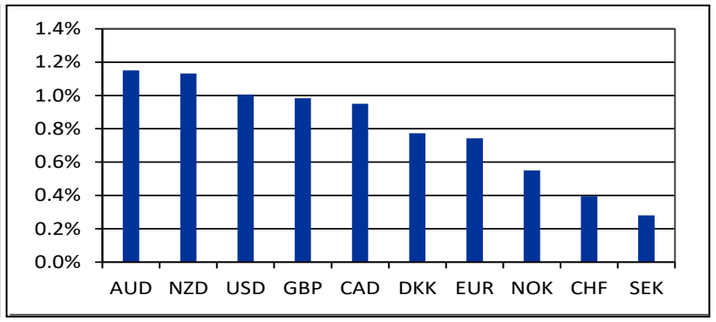
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
10月1日	08:30	日	失業率	8月	2.6%	2.7%
	08:50	日	日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-	
	10:30	豪	小売売上高(前月比)	8月	0.4%	0.0%
	18:00	欧	CPI(前年比/前月比)・速報	9月	1.8%/0.0%	2.2%/0.1%
	22:45	米	製造業PMI・確報	9月	47.0	47.0
	23:00	米	ISM製造業景況指数	9月	47.5	47.2
10月2日	00:00	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.75-145.00	1.1100-1.1775	159.00-161.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、東京時間を通して軟調な推移となり、午後には一時141円台まで下落。しかし、欧州時間にかけては下げ幅を縮小させる展開。米国時間にはパウエルFRB議長が「利下げを急いでいない」と発言したことが伝わると144円ちょうど手前まで上昇する場面が見られた。

本日のドル円は堅調な推移を予想。昨夜のパウエル議長の講演からFedが改めて利下げを急がない様子が伺えただけに、先々の大幅利下げに対する警戒感が徐々に剥落することが意識されドル買いが優勢な展開になりそうだ。加えて、日本サイドとしては衆議院選挙を控えており、石破新政権から金融政策に対するタカ派な意見は暫く封印される公算が高い点もドル円をサポートする材料として意識されるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・西